

助成対象活動報告シート

団体名：大曾根まちそだて会議

1 助成を受けて実施した活動

※ 活動の様子がわかる写真(数枚)を入れ込んで記入してください。

大曾根ニュースレターの発行

大曾根まちそだて会議の取り組みや、イベントなどの情報をニュースレターとして発行した。ニュースレターは、第7号～第11号まで発行した。



広報戦略の議論

今後、どんな人にどのような情報を届けていきたいかという議論を行った。結果、以下の3つのツールを使いながらターゲットに応じて広報を行って行くことにした。

- 1) 大曾根ニュースレター (回覧板) → 地域住民 (ファミリー層、高齢者層)
- 2) 大曾根ニュースレター (各人の SNS) → 地域住民 (若年層)、来街者
- 3) Web サイト → 来街者



(助成対象外) Web サイト改善に向けた取り組み

大曾根本通商店街/大曾根商店街が所有している大曾根地域をまとめた「大曾根モール」という Web サイトの改善に向けた MTG を3回行った。それによって、近隣の大学である名城大学都市情報学部の学生と連携をして新たな Web サイトを作成することになった。

現在作成中であり、今後は Web サイトの構成や中身だけでなく、運用体制も並行して検討をしていく予定である。

※ この様式は公開されます。

2 活動の成果および目標達成度合い

① 大曽根まちそだて会議の認知度向上

大曽根まちそだて会議の認知度が向上したことにより、今まで会議への参加はなかった旭ヶ丘地区の方から活動が認知をされたり、商店街内の空き店舗オーナーからまちそだて会議で行っている空き店舗対策の取り組みが認知されたりし始めた。

② 大曽根まちそだて会議への新たな大曽根地域の住民参加の創出

毎月1回開催をしている定例会への出席者が、令和3年度に比べて延べ12名が新たに参加をし、うち7名が地域住民の参加となった。

③ 広報体制の構築

今年度の取り組みによって、大曽根ニュースレター作成やWebサイト制作に向けた協力体制が構築された。(地域内団体や、周辺大学の学生等)

3 活動により見えた課題

・大曽根ニュースレターの作成費用捻出について

大曽根ニュースレターは現在、回覧板にて発行をしている。作成費用捻出のために、企業や商店街からの協賛を募り発行してはどうかという議論が起こったが、公共性に欠くものは回覧板にのせられないのではないかという意見があり、今年度は協賛を断念した。

・WebサイトやSNSによる発信力の低さ

今年度は、広報戦略においてWebサイトによる発信やSNSによる発信も並行しながら行うことを目指した。しかし現行のWebサイト(22年12月で契約終了)は複数の主体による更新が難しく、新たなWebサイト作成はまだ制作途中であることから、本格的なWebサイトによる発信には至らなかった。また、SNSによる広報についても現在では各個人/他所属団体による情報のシェアというところに留まっている。

4 今後の活動等の展望

・持続的なニュースレター発行のための費用捻出

現在、2つの取り組みを検討している。

1) 新たに作るWebサイトにおいて協賛を募ること

2) 現在の回覧板に入れるニュースレターだけでなく「特別号」等という形で発行をし、そちらで協賛を募ること

・広報体制のアップデート

新たなWebサイトが完成した後は、まちそだて会議のメンバーや周辺大学の学生、地域内他団体と分担をしながら、Webサイトの更新を行なって行くことを検討している。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、2ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさ日本産業規格A4とする。

※ この様式は公開されます。